

磐城桜が丘高校における読書活動推進の取組

1 学校の概要

- ① 所在地 いわき市平字桜町5
- ② 学級数・生徒数 18クラス、689名（令和6年5月1日現在）
- ③ 学校図書館の蔵書数 35,200冊（令和6年3月31日現在）

2 読書活動推進の取組内容

① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

◆新入生図書館オリエンテーションの実施

4月中旬に国語の授業を1時間いただいてクラスごとに実施した。館内見学の際には図書の分類を意識して書架を見てもらえるようワークシートを用意した。入学以前の読書傾向と図書館への要望を把握するために、簡単なアンケートを実施した。

◆広報活動

図書館からのお知らせ、図書委員のおすすめ本などを掲載した「図書館だより」を月1回発行し、全校生・教職員に配布している。また、年刊の「図書館報パピルス」では、図書委員会執行部の生徒が、読書への興味・関心につながる内容の特集記事を、アイディアを出し合いながら企画・執筆している。

図書館入口に近い廊下の掲示黒板には、新着図書の案内や館内企画のお知らせなどを掲示し、本や図書館の活動をPRしている。

◆常設コーナー・テーマ展示コーナーの設置

新着図書、おすすめ本、進路・小論文、映画・ドラマ原作本の常設コーナーと、季節や時事に関連したテーマ展示コーナーを設置している。

本校では令和5年度より教育コースが設けられたため、近年の教育課題について触れられている図書や定番の図書をまとめ教育コーナーを新たに設置した。パスファインダー『教育』について調べる』を作成し、教育に関する情報の調べ方も案内している。

◆小論文対策ブックリストの作成

大学受験の小論文や面接対策として、参考になりそうな新書等の図書のテーマ別リストを作成している。

◆図書委員有志による書店での選書

リクエスト以外の生徒目線での図書選定の機会を設けるため実施した。

◆読書週間企画

令和6年度は、雑誌のバックナンバー譲渡会、図書委員おすすめ本のPOP展示、ライブラリーカフェの開催をした。ライブラリーカフェは初の試みだったため、温かい飲み物を飲みながら好きな本を読むという内容で行ったが、今後はおすすめの本の紹介や読書会など参加者同士がコミュニケーションを図れるような形態で開催したい。

◆探究活動への支援

年度によって実施状況は異なるが、総合的な探究の時間において、図書や新聞・雑誌等での

情報の調べ方についてのガイダンス、探究のテーマに関する資料の提供を行っている。

② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

◆「朝の読書」

平成26年度より1・2学年を対象に「朝の読書」を実施している（令和6年度は年間6週間）。「朝の読書」週間は、朝自習の時間（15分）を読書に充て、「みんなでやる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を原則に、各々が本と向き合うことを目的としている。図書館は「朝の読書をはじめよう！～磐城桜が丘高校「朝読」の手引き」の作成と、学級文庫の準備等を通して読書活動をサポートしている。

③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

◆ビブリオバトルの実施

令和3年度より、1年生の国語の授業でビブリオバトルに取り組んでいる。各班のチャンプ本に選ばれた生徒は、校内ビブリオバトル大会への挑戦権を得られる。挑戦権を持つ参加希望者と2年生の有志による校内ビブリオバトル大会で優勝した生徒が、福島県大会のいわき地区予選に出場した。

◆他校図書委員との交流

本校の図書委員会は「いわき地区高等学校図書委員連合会」に加盟しており、年2回本や読書に関する研修を行っている。令和6年度の研修内容は新聞の活用法についての講演、いわき市在住の作家・四季大雅氏の著作を課題図書とした読書会と講演であった。

④ その他、読書活動推進へ向けた取組

◆学級文庫の設置

「朝の読書」用学級文庫を各クラスに30冊ずつ設置し、本選びの選択肢の一つとして活用してもらっている。多様な本に触れられるよう途中で図書の入替えも行っている。

◆先生方による図書の推薦

「生徒に薦めたい本」「授業で紹介した本」などを推薦してもらい図書館で購入している。また、年刊の「図書館報パピルス」では、先生方のおすすめ本をエピソードとともに紹介するなどしており、毎年恒例の企画となっている。

◆いわき市立図書館との連携

令和4年度よりいわき市立図書館の「高校図書委員等のおすすめ本の展示」に、図書委員の生徒が作成したおすすめ本の紹介POPを出品している。



テーマ展示コーナー



教育コーナー